

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム設楽の家

目標達成計画

作成日：令和4年1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	独歩またはシルバーカーの方々は、屋外散歩ができていますが、車イスや手引き歩行の方を屋外へ連れ出す機会が少ない。	車イスの方、独歩の方、分け隔てなく屋外へ出かけられる支援を行う。	車イスを使用している方に対しても、レクリエーションの後に行っている散歩や外気浴の声かけをする。また、洗濯物を干したり取り込んだりする時間を利用して、屋外へ連れ出すようにする。	6ヶ月
2	43	時間を決めてトイレ誘導、パット交換しているが失禁していることが多い。	失禁を減らし、トイレでの排泄を増やす。	食事、おやつ前もトイレ誘導や声かけをし、今までより関わる回数を増やす。	6ヶ月
3	25	転倒による骨折があり、入院された利用者があった。	ケガをすることなく元気で過ごしていただき、ADLの低下を防ぐ。	夜間はセンサーの位置に気をつけ、作動したらできるだけ早く訪室し様子を見る。日中は、見守り重視とし利用者の行動に留意する。歩行時ふらつきのある方には、できるだけ付き添う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。